

藤田雅彦のちょっと気になる物事(第 24 号)

暦の上では秋となりましたが、まだまだ暑い日が続きます。
皆様いかがお過ごしでしょうか。

世間は今、リオデジャネイロ五輪と SMAP 解散の話で持ち切りです。
リオデジャネイロ五輪では、数々の感動的なドラマが生まれていますね。
中でも、男子体操総合の大逆転優勝においては、
チームワークの素晴らしさに思わずテレビの前で握手をしたほどでした。

今回のメルマガも、アシスタントの鶴田 雅子が担当いたします。

今回の「藤田雅彦のちょっと気になる物事」は、

////////////////////////////////////

● 気になる国として、

—— 「リオデジャネイロ」を

● 気になる言葉として、

—— 夏の風物詩「花火大会」

////////////////////////////////////

を取り上げてみました。

その前に、

本日は、弊社の代表取締役である藤田が事務局長を務める
一般社団法人全国経営診断士会が認定する
CBC 経営診断士試験とその対策講座をご案内させていただきます。

一般社団法人全国経営診断士会は、
プロのコンサルタントの養成を継続的に行っている 30 年の歴史のある団体です。

毎年 6 月と 12 月の第 1 日曜日に、CBC 経営診断士の試験を開催していますが、
それぞれの試験に対応した対策講座が大変に好評なのです。
ちなみに、CBC とは、「Certified Business Consultant」の頭文字です。

次回の試験は 12 月 4 日（日）ですが、
対策講座は 9 月 4 日（日）に始まり、
全 5 回、毎回タイプの違う現役コンサルタントが講義（10 時から 17 時）を行います。
ケースメソッドを採用し、理論と実践が同時に体得できるシステムです。

現在コンサルタントとして活躍されている方はもちろん、
これからコンサルタントを目指す方や保険営業で法人を担当されている方も
十分にご納得いただける内容です。

名刺に「CBC 経営診断士」と入れることにより、
士業の方や FP の方から業務範囲が格段に広がったとのお声もいただいております。

全 5 回のカリキュラムは、以下の通りです。

- 第 1 回 9 月 4 日（日） 経営戦略・組織・管理論
- 第 2 回 9 月 25 日（日） 会計諸則・財務諸表分析
- 第 3 回 10 月 16 日（日） 企業支援指導（コンサルティング技法）
- 第 4 回 10 月 30 日（日） 企業格付指導（MT チャートによる診断）
- 第 5 回 11 月 13 日（日） 総合演習・トータルマネジメントによる経営改善

経営者の方は、自社の分析や経営改善にお役に立てることができます。

試験の概要とお申込書は、こちらをご覧ください。

http://www.ifpc.co.jp/cbc_school_2016.pdf

一般社団法人全国経営診断士会の賛助会員（入会金 5 千円、年会費 3 万円）
になっていただきますと、受講料が半額となる割引制度がございます。

会員のメリットなどは、ホームページをご参考にしていただけると幸いです。

<http://cbca.jp>

対策講座の申込みの締め切りは、8月31日までです。

お問い合わせは、03-3812-8211 事務局の藤田まで。

この機会に、是非とも、キャリアアップに活かしてください。

さて、それでは本題に。

=====
気になる国 >>>
=====

今回は、オリンピックの開催地として注目が集まっている「リオデジャネイロ」をピックアップしたいと思います。(国ではありませんが...)

ポルトガル語で「1月の川」という意味を持つ、
ブラジル南東部に位置するリオデジャネイロ州の州都です。

このリオデジャネイロがポルトガルの探検家に発見されたのが、1502年1月1日。
その日付から、探検家のグループはグアナバーラ湾のあるこの場所を
「1月の川」と名付けたのです。

湾を川だと勘違いして名付けたと言われていますが、
当時はそもそも「湾」、「川」などの地理的な細かい区別がなかったそうです。

世界有数のメガシティであり、国内最大の観光都市でもあります。
面積は1,260平方キロメートルで、人口は増加傾向にあり、
約645.4万人の人々が住んでいます。

都市周辺の美しい文化的景観は「リオデジャネイロ:山と海との間のカリオカの景観群」
として、世界遺産リストに登録されるほどです。

また、サンパウロに次ぐブラジル第2の経済規模を持っており、
ブラジルのGDPの5.4%をリオ1市で生み出しています。

新たな経済の主軸は、大規模ショッピングセンターでの商業・サービス業の伸展、
高層マンション、住宅の建設商業やサービス業です。

ブラジルのスポーツ省は、

2014年のワールドカップと今年の五輪を合わせた経済効果を約6兆円としており、
さらに300万人の雇用創出が可能だと予測しています。

内訳は、インフラ投資、観光客の増加、国内消費の増加などの直接的効果が約1.8兆円、
そこからの経済波及効果が約5.2兆円と予測しています。

ワールドカップ・五輪のダブルの恩恵を受けどこまで発展していくのか。

これほどのチャンスを限定的なものにしないためにも、人々が一致団結してエネルギーに変え
ていく必要がありますね。

まずは国内の政治の混乱を落ち着かせることを優先すべきかもしれません。

=====

気になる事柄 >>>

=====

「花火大会」

全国各地で花火大会が開催されていますが、皆様は足を運ばれましたでしょうか。

私は蝉の鳴き声、風鈴の音色、花火の上がる音を聞き、毎年夏の訪れを感じています。

私たちを楽しませてくれる花火ですが、この花火の経済効果は一体どのくらいなのでしょう。

花火大会の効果として、

- ①準備・運営にお金を使う
- ②観客がお金を使う
- ③人が集まる

ということが挙げられます。

①に関してですが、3000発の花火大会を開催するとして、平均して3号の花火(3000円前後)

を使用すると、約 1000 万という計算になります。

その他にも交通整理、警備などのコストがかかるとして、追加で約 2000 万。

ざっくりとした計算ではありますが、

3000 発規模の花火大会を開催するのに約 3000 万が必要と考えるのが妥当なようです。

協賛を募ればもっと安くなります。

②に関してですが、3000 発の花火大会を運営すると、約 10 万人集まる計算です。

1 人当たり 1000 円を使うとして、単純計算では 1 億円の効果が期待できます。

半分の方しかお金を使わないという計算でも 5000 万円となりますので、

十分な効果と言えるでしょう。

③に関しては数値化するのが難しいため、割愛させていただきます。

具体的な例で言うと、

約 70 万人の観客動員がある「東京湾大華火祭」は、費用 3 億 5000 万円に対し、

ホテル・屋形船・飲食店・交通などの直接効果の総額は 21 億円、

経済波及効果は 52 億円です。

約 60 万人の観客動員がある「なにわ淀川花火大会」は、費用 2 億 9000 万円に対し、

直接効果の総額は大阪府内だけで 89 億 7869 万円。

経済波及効果は近畿地域で約 116 億円にも上るそうです。

花火大会の経済効果は想像以上に大きいことがわかりました。

話は変わりますが、前回の「気になる事柄」で取り上げた「山の日」。

読売新聞の記事によると、

経済効果は数千億円試算であるとのことでした。

お盆に近い 11 日の祝日は、人によっては夏休み期間にも影響し、

外食や旅行への支出が増えるようです。

その他、アウトドア専門店「好日山荘」池袋西口店では、

8 月の売上高を前年比 3%増と見込んでいることなどが挙げられていました。

8月の連休は終わってしまいましたが、9月下旬には祝日が2日ありますよ。
お休みが取れる方は、その日を楽しみに頑張りましょう。

拙い文章でございましたが、
最後までお読みいただきありがとうございました。

「藤田雅彦のちょっと気になる物事」について

ご意見・ご感想などお寄せいただけるとありがたいです。

なお、本メールに心当たりがない方や、配信を望まれない方は、

「配信不要」と返信いただければと存じます。

☆生命保険や医療保険、投資信託やNISAのご相談も承ります。☆